

第3回飯田市社会福祉審議会児童福祉分科会（飯田市版子ども・子育て会議）

第3回飯田市次世代育成支援対策地域協議会 議事録

日時 令和8年2月24日（火）18:00～19:30

会場 橋南公民館 第1・2会議室

出席者（委員）：原委員、小川委員、宮澤委員、岩橋委員、松村委員、田中委員、多田委員、田中委員、渋谷委員、黒河内委員、小池委員、西村委員、壬生委員、下平委員、村松委員、光沢委員、藤岡委員、塩沢委員

（事務局）：山崎子ども未来健康部長、筒井子ども課長、塩澤保育家庭課長、福沢福祉課長、高山子ども課長補佐兼子育て支援係長、片桐子ども課長補佐兼子ども相談係長、北沢子ども課発達支援係長、三石子ども発達センターひまわり所長、小笠原子ども課発達相談担当専門技査、久保田子ども課子ども相談担当専門技査、飯島保育家庭課長補佐兼家庭相談係長、齊藤保育家庭課保育係長、木下学校教育課児童クラブ係長

（司会）：高山子ども課長補佐兼子育て支援係長

1 開会

2 任命書の交付

3 子ども未来健康部長あいさつ

こんばんは。子ども未来健康部長の山崎でございます。本日は、年度末も迫ってきましたし、確定申告の時期でもありますので、お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。

先日開催されたミラノコルティナオリンピックでは、世界の大舞台で一瞬の勝負に全力をかける選手みなさんの活躍に感動もありましたし、その裏には人には見せない努力であったり、いろんな練習、つらいこともあったらうなと想像すると、オリンピックのステージに立っていることは素晴らしいことだなと感じてテレビを観ていました。そんな中で、スノーボードの男子で銀メダルを取った長谷川帝勝選手の「人は恥をかいて大きくなる」という言葉がとても印象に残りました。失敗しても、またこけたりいろんなことをして恥ずかしいって思うこと、また最近の若い人たちは仲間と違うことをやるのを嫌うということもあるかと思いますが、同世代のみなさんが勇気づけられるような言葉だったんじゃないかなと感じながら聞いていました。来月に入りますと、パラリンピックも行われますので、楽しみにしたいなと思います。

さて、1月30日に長野県から令和7年中の人口動態の発表がありました。飯田市は、社会現象で最も減少数が大きい市町村になってしまいました。また、出生数も506人というとても衝撃的な数字になってしまいましたが、数字に踊らされることなく政策施策をしっかりとやっていかなければと思いますし、進学等で一旦離れる若者がいることは4年制大学がないので仕方がないのかなと思いますけれども、その若い人たちに帰ってきてもらうことを行政としてもしっかりと取り組んでいかなければいけないと思っています。

そんな中で、令和8年度の予算編成が整いまして、先日18日に発表させていただきました。新聞等で目に留まったかと思いますが、目の前の地域課題を一生懸命取り組んでいくこと、また10年先を見据えたまちづくりという視点で予算編成をしてみました。この分科会に関係する予算を申し上げますと、旧市公の跡地に思いきり遊ぶ親子交流施設の整備に向けた市民会議を立ち上げてま

います。また、小中学校の体育館への空調設備の整備、学校給食や保育所の副食費の保護者負担の軽減、また新たな調理場の移転整備など、こどもや子育て家庭の負担軽減に取り組んでいく経済支援、またこどもが利用する学校等の環境整備に取り組んで、子育てしやすいまちづくりをより一層進めていきたいと考えております。

この後の協議では、こども誰でも通園制度に関する事項や放課後児童クラブの体制についてご協議をいただきます。委員のみなさんのご意見を頂戴できればと思います。また本日の会議で学生枠で参画をしていただいております高校生の2人が退任されます。1年間勉強や学校行事などで忙しい中、会議に出席いただきましてありがとうございました。4月から3年生ということですので、自分たちの夢に向かって頑張っていたいただきたいと思います。ここにいらっしゃるみなさん、みんなきつと応援してくださると思いますので、頑張っていたいただければと思います。

長くなりましたが、限られた時間ではありますが、本日はどうぞよろしくお願いたします。

#### 4 児童福祉分科会長あいさつ

みなさん、こんばんは。原でございます。最近暗くなるのが遅くなりまして、18時でもまだまだ明るいんですね。とは言っても、この時間からの会議に参加していただきまして本当にありがとうございます。

先ほど部長から予算編成についてのお話がありました。どうしてもハードで何をするかが先行してしまうのは、当然ハードはお金がかかるので予算に組み込まなければいけないのですが、子育て支援だとか人の心を動かすようなことってというのはハードだけじゃない気がするので、何かソフトの方でももうちょっと充実できるようなことをやっていただきたいと思います。

それと、高市政権が暮れにいきなり解散して総選挙をして、中央の体制が大きく変わるという劇的な変化が訪れました。高市政権についてはいろいろな評判があると思いますが、自分が思ったことをピシッとやるような総理大臣だと思います。ぜひ中央政府も国民のことを十分に考えた政策を考えていただきたいと思います。子育て支援やこども・若者たちが希望を持って生活できるような政策を中央政府や地方政府で考えていただいて、我々も意見を述べたりして、いい方向に進んで行っていただきたいと思います。

以上簡単ですが、一言ごあいさつ申し上げました。

#### 5 協議事項

##### (1) 飯田市こども若者まんなかプランの一部変更について

(齊藤保育家庭課保育係長より資料No.1の説明)

##### 意見質問事項

A委員	ただ今の説明に、ご意見やご質問はありますか。
B委員	お聞きしたいことが2つあります。資料の2枚目の128ページに追加のところで、今までは月10時間まででしたが、今後は月一定時間までとあります。一定時間というのは誰がどう決めるのか教えてください。それから、同じページの下から6行目の①に「乳児等通園支援事業の利用終了後の受入れ枠」とありますが、これは何ですか。
事務局	現在月10時間までで、来年度も月10時間で変わりはないのですが、国の示し方に合わせて月一定時間までに変更しました。今後10時間が変更になる可能性

	<p>もあるということで変更しました。</p> <p>「乳児等通園支援事業の利用終了後の受入れ枠」については、乳児等通園支援事業は満3歳までとなっておりますので、満3歳を迎えると乳児等通園支援事業を利用できないため、認定こども園等に1号認定で入るか、一時預かりを利用するなどして支援を続けていくということになります。</p>
B委員	満3歳になると乳児等通園支援事業は利用できなくなるけれど、その後の対応はしていくかたちをとりますという意味ですか。
事務局	はい、そのとおりです。
A委員	その他、ご意見等ございませんでしょうか。
委員	なし。
A委員	では、異議なしとして認めます。事務局案のとおり2月27日までに県へ報告するという進めていただきたいと思います。

(2) 令和8年度飯田市乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の事業所の確認等について  
(齊藤保育家庭課保育係長より資料No.2の説明)

意見質問事項

A委員	ただ今の説明に、ご意見やご質問はありますか。
C委員	利用時間が月10時間ということですが、利用者からは不足しているというような意見はありましたか。
事務局	全ての方ではなく一部の方から、月10時間では足りないという意見をいただいたことはあります。使い方としては、3時間を3日使う方や2時間を5日使う方などそれぞれ違います。
C委員	数字についてはわかりました。使い方について、どういう使い方をしているかのアンケート等を取られたらよろしいかと思います。
A委員	その他、ご意見等ございませんでしょうか。
委員	なし。
A委員	<p>では、審議に入ります。</p> <p>利害関係者にあたる委員は、一時的にご退席いただいたうえで、審議しますので、お手数ですがご協力をお願いします。</p> <p>まず、風越・羽場こども未来園について審議します。園長の職責にある宮澤委員はご退出ください。風越・羽場こども未来園について、ご意見はありますか。</p>
委員	なし。
A委員	ご発言がほかにごございませんのでお諮りします。風越・羽場こども未来園で、こども誰でも通園制度を実施することとしてよろしいでしょうか。
委員	異議なし。
A委員	<p>ご異議なしと認めます。風越・羽場こども未来園でのこども誰でも通園制度事業は確認されました。宮澤委員は、お入りください。</p> <p>次に、飯田ルーテル幼稚園について審議します。園長の職責にある黒河内委はご退出ください。飯田ルーテル幼稚園について、ご意見はありますか。</p>
委員	なし。

A委員	ご発言がほかにございませんでお諮りします。飯田ルーテル幼稚園で、こども誰でも通園制度を実施することとしてよろしいでしょうか。
委員	異議なし。
A委員	ご異議なしと認めます。飯田ルーテル幼稚園でのこども誰でも通園制度事業は確認されました。黒河内委員は、お入りください。 次に「親子であそぼ♪森っこ」を除く、その他の保育所及び認定こども園の余裕活用型について一括審議します。ご意見のある委員はありませんか。
委員	なし。
A委員	ご発言がほかにございませんでお諮りします。その他の「余裕活用型」の事業所において、こども誰でも通園制度を実施することとしてよろしいでしょうか。
委員	異議なし。
A委員	ご異議なしと認めます。では一覧にある「余裕活用型」の事業所すべてについて、令和8年度こども誰でも通園制度事業は確認されました。 最後に、「一般型」の「親子であそぼ♪森っこ」について審議します。管理者の職責にある多田委員はご退出ください。ご意見はありますか。
委員	なし。
A委員	ご発言がほかにございませんでお諮りします。「親子であそぼ♪森っこ」で、こども誰でも通園制度を実施することとしてよろしいでしょうか。
委員	異議なし。
A委員	異議なしと認めます。「親子であそぼ♪森っこ」での、こども誰でも通園制度事業は確認されました。多田委員は、お入りください。

### (3) 令和8年度特定教育・保育施設の利用定員の変更について

(齊藤保育家庭課保育係長より資料No.3の説明)

#### 意見質問事項

A委員	ただ今の説明に、ご意見やご質問はありますでしょうか。
D委員	2ページの認可定員の変更後の人数が間違っていますよね。
事務局	2ページの3園は、変更するのは利用定員のみで、認可定員は変更しないとの申し出がありました。
事務局	補足で説明させていただきます。認可定員は基本的には箱物の大きさの定員で、利用定員は実質受入れ可能な定員とご理解いただければと思います。
A委員	その他、ご意見等ございませんでしょうか。
委員	なし。
A委員	では、審議に入ります。 利害関係者にあたる委員は、一時的にご退席いただいたうえで、審議しますので、お手数ですがご協力をお願いします。 まず、風越・羽場こども未来園について審議します。園長の職責にある宮澤委員はご退出ください。風越・羽場こども未来園について、ご意見はありますか。
委員	なし。

A委員	ご発言がほかにございませんでお諮りします。風越・羽場こども未来園の定員変更について、これを認めることとしてよろしいでしょうか。
委員	異議なし。
A委員	ご異議なしと認めます。風越・羽場こども未来園の定員の変更を認めます。宮澤委員は、お入りください。 その他の教育・保育機関の定員変更に係る説明について、ご質問・ご意見は、ありますでしょうか。
委員	なし。
A委員	ご発言がほかにございませんで、皆さんにお諮りします。 私立保育園と認定こども園の定員変更については、事務局説明のとおり、これを認めることとしてよろしいでしょうか。
委員	異議なし。
A委員	ご異議なしと認めます。 「令和8年度特定教育・保育施設の利用定員の変更について」は、事務局案のとおりと決定いたしました。

(4) 令和8年4月からの放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の体制について  
（木下学校教育課児童クラブ係長より資料No.4の説明）

意見質問事項

A委員	ただ今の説明に、ご意見やご質問はありますでしょうか。 この上郷児童クラブの1～3は同じ場所にあるのですか。
事務局	そうですね。児童クラブの場合は支援単位というような考え方がありますので、上郷小学校の中にあるのですが、それぞれ部屋を区切って40人ずつでやっておりますので、こういう書き方をしております。
A委員	フルで120人ということですね。
事務局	そうですね。合計で120人です。
A委員	その他、ご意見等ございませんでしょうか。
委員	なし。
A委員	ありがとうございました。では、条例に基づき、協議の内容は運営の参考としてください。

6 報告事項

(1) 飯田市社会福祉審議会条例の一部改正案の上程について  
（高山こども課長補佐兼子育て支援係長より資料No.5の説明）

意見質問事項

A委員	ただ今の説明に、ご意見やご質問はありますでしょうか。
委員	なし。
A委員	ご発言がほかにございませんで、事務局の報告を、聞きおくこととします。

(2) 令和8年度の審議委員（若者枠）の公募について

(高山こども課長補佐兼子育て支援係長より説明)

意見質問事項

A委員	ただ今の説明に、ご意見やご質問はありますでしょうか。
委員	なし。
A委員	ご発言がほかにございませので、令和8年度の審議委員（若者枠）の公募について」は、承知しました。 今年度で終了する審議委員の皆さん、今年一年間たいへんお世話になりました。

7 その他

飯田市結婚相談員会代表田中委員より資料No.6の説明

意見質問事項

A委員	ハードを作るだけではなく、ソフトが大事なんですよ。年齢の節目節目で教育していくことが大切ですよ。セミナー等を開催して、少しでも先がみえるようなことをしていただきたいと思いました。 せっかくなので、今日で退任される学生のお二人から一言ずついただけますでしょうか。
E委員	今まで飯田市が何を行っているかなどを全然知らずに過ごしてきたので、この会議に参加させていただいて、自分が思っているより飯田市に若者が戻って来られるよう頑張ってくださいということを知ることができて、すごくよかったですと思います。私も大人になってから飯田市に帰ってきたいという思いがちょっと強まりました。ありがとうございました。
F委員	資料No.6の中で、自分の中で結構刺さったものが、相手を思いやるとは何か、努力する意味、よい人間関係の作り方などの言葉が書いてあって、挑戦する姿勢とか、そういうのは私も人を思いやるって普段から意識してないといけないことだと思うし、挑戦する姿勢も今の若いうちから失敗しても大丈夫だよって意識しないと大人になっても挑戦することが怖いと思って、どんどん自分から避けていっちゃうなと今感じているので、この言葉を見て、自分もこれから高校3年生に向けて意識していきたいことが書いてあったので、今この言葉に出会えてよかったなと思います。 市の会議は初めての参加でしたが、前回自分の幼少期にどうだったかを振り返って、こうだったらいいな、ああだったらいいなという思いを考えるいい機会を経験させてもらったので、これからの自分の将来に向けて生かしていきたいと思いますし、自分で知ろうとしないと飯田市でどういうことをやっているのかもわからないと思うので、これから飯田市から離れるかもしれませんが、飯田市にいる間は飯田市が今どんな取り組みをしているのかを自分から積極的に情報を知るように心がけていきたいと思ったし、県外に出てからも自分が住んでいる地域について情報を自分から探していくことを意識していきたいと、この会議を通して思いました。ありがとうございました。

## 新しく委員に任命された小川委員あいさつ

G委員	12月に改選があり、民生委員の副会長ということで、この会議に参加させていただくことになりました。初めてこのような会議に出席しましたが、非常に難しい会議でありまして、よく聞かないといけないし、自分も勉強していかないと考えております。 私は毎週水曜日に児童の下校の見守りを行っております。本日の会議の中で、児童クラブなどの知っている言葉も出てきましたが、またこれから勉強させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。
-----	--

### 8 こども課長あいさつ

長時間にわたりご議論いただきまして、ありがとうございました。

今年度から委員を改選し、15名の委員を新たにお迎えして、計3回目の会議を開催してきました。内容としますと、こども若者プランの概要やこども家庭センターの状況、若者の意識と生活に関する調査の結果について説明を聞いていただいたり、個人それぞれが思っていたらっしゃることのお話を聞かせていただきました。こどもまんなか社会の実現という方針に沿って、若者枠という新たな選出のルールを作って、3名の学生さんにご参加いただきました。慣れないこともあったかと思いますが、会議に出席いただいて、またしっかりとしたご発言をしていただきまして、本当にありがとうございました。

今日の会議とちょっと話がずれますが、先日飯田女子高校の探究学習の発表会に呼んでいただいて、成果発表を聞かせていただきました。今ちょうど受験のシーズンなんですけど、テストは明らかに答えがあって、○とか×がつくと思いますが、私たちがしている仕事は全て○か×ではなくて、これが本当に正しいんだろうかというのは常に悩みながら考えていますが、こういうふうにしたいとか、こういうふうの方がいいんじゃないかと思って方向方針を決めてアプローチして、うまくいかなかったらまた軌道修正していくっていう、そういう繰り返しだと思います。探究学習の発表を聞かせていただいて、何が課題だっていうところにまず着眼して、それについて疑問を感じたり、また私はそれじゃあどうしてたらいいんだろうかとか、どういう解決策があるんだろうかということ、それぞれ学生さんたちが思って実際にそういう行動をしてくっていうことは、改めてとても大切だなと思っていて、私の日々の中でも疑問に思うことに対し、じゃあどうしたらいいんだろう、どういうふうに行動していったらいいんだろうなと感じました。

冒頭の部長の挨拶で人口の話をさせていただきました。ご存知だと思いますけれども、人口は減っていて、生まれてくるこどもの数も減っている状況にあります。誰か1人が頑張ればいいということではなくて、先ほど申しましたように、そういうことが課題であるとするならば、じゃあ私たちはそれぞれの立場でどういうふうにして考えていったらいいんだろうかということを考えて、私は私の立場でやれることをやっているといいかなと感じました。

今回で今年度の会議は閉じることとなりますが、来年度以降も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

### 9 次回開催予定

日時：令和8年6月頃予定

### 10 閉会